

3月 弥生 となりましたが、先日の日曜日のポカポカ陽気とは打って変って、冬將軍の到来です。2月も1月同様に寒暖の差が激しくて、身体がついていけません。このような天候以上にややこしいのが世界の情勢です。

米・中・露・EUと世界は金融緩和競争にしのぎを削っています。金融資本主義は終りを迎えていると思う。この先はどうなるのか？不確かな情報で軽々しく判断してはいけないのですが、マスコミの情報しか持ち合わせていないので、これで判断するしかありません。今回の動きを見渡すと何かおかしいなーと肌で感じています。

アベノミクスの第一の矢である金融政策はある程度成功したと言えるのですが、ここに来てマイナス金利の導入をサプライズで実施したが、意図したことは真逆のことが起きている。円高株安となってしまった。日銀の黒田総裁もとうとう弱者をはき出してきています。金融政策だけで2%の物価上昇、インフレターゲットを実現できる訳がないと言いつつ始末です。

マイナス金利の影響は大きなものがあります。銀行が日銀の当座預金にお金を預ける場合、今までなら0.1%の金利が付いていましたが、当座預金260兆円の全てにマイナス金利を即付けるのではなくて、そのうち210兆円は当面そのまま0.1%のプラスの金利、残りの50兆円のうち30兆円くらいは0%で、残りの20兆円くらいにマイナスの金利を付けていこうと言うことで、全てにマイナス金利がつくのではなく、序々にその割合を増して行くこととなります。巷では住宅ローンを今組まないと言われている方がいますが、あまり拙速に事をすすめることはありません。本来は企業の設備投資にお金が廻るようにしたものなのですが・・・。第2の矢の財政出動も効果的な動きがとれていません。新3本の矢ももうひとつパッとしませんので。

米国の大統領選挙におかしな動きが出ています。共和党はトランプ候補がリード、民主党はクリントン候補が僅差でサンダース候補に勝っているが、両極端な候補者が人気を集めている。この動きは今までの常識では図れない何かが地下のマグマでざわめいているのかもしれない。

禅定で2016年を乗り切ろう。